

高次脳機能障害者の自己理解を 進めるための支援技法の開発

はじめに

障害者職業総合センター職業センターにおいては、高次脳機能障害者の就職、雇用の安定、復職等に資するため、個別の特性に応じた支援プログラムの実施を通じ、高次脳機能障害者の自己理解の促進、補完手段の習得及び事業主支援を目的とした支援技法を開発し、その開発成果の伝達・普及を進めています。

近年の医療技術の進展や診療報酬の改定等により、脳卒中や頭部外傷等により高次脳機能障害と診断を受けた方が、入院してから退院するまでの期間が短くなっています。これに伴い、就職や職場復帰に向けてのリハビリテーションに取り組む場や期間、内容も多様化しています。このような変化によって、職業リハビリテーションの分野においても、様々な状態を呈する高次脳機能障害者に対し、より個別的な支援が求められるようになってきています。

本実践報告書では、高次脳機能障害者の就職、復職等において、多くの支援現場で支援者が取り組んでいる、高次脳機能障害者の自己理解を進めるための支援について、本人に寄り添い、本人の納得感を大事にしたアプローチ方法について検討し、実践した内容をご報告します。

本実践報告書が、高次脳機能障害者の就職、雇用継続、職場復帰等に向けた支援の現場で活用され、職業リハビリテーションサービスの質的向上の一助となれば幸いです。

令和7年3月

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
障害者職業総合センター 職業センター
職業センター長 那須 利久